

※自社の安全衛生担当者の要件は「安全管理者、衛生管理者、安全衛生推進者、衛生推進者」のいずれかの資格要件を満たした方になります。常時使用する労働者数が10人未満の事業者は「事業主」も可能です。

記載例

リスクアセスメントシート(労働者からのヒヤリハット等情報収集によるリスク評価) 自社の安全衛生担当者※が実施する場合の参考様式

事業場名：株式会社〇〇〇〇

【このシートの目的】

職場の労働者からヒヤリハット事例を集めたり、危険な作業や箇所がないか意見を聴いて、労働災害発生リスク(以下、「リスクという。）」の洗い出しを行い、職場のみんで話し合っってリスクを評価し、評価したリスクごとに優先順位を踏まえて、労働災害防止対策を検討・実施することが目的です。

【入力方法】

- ① ヒヤリハット等の内容を記入してください。②「重大性」と③「発生可能性」をそれぞれ選択してください。④リスクが自動で表示されます。
- ⑤ リスクに応じて対策を検討し記入してください。また、検討した対策のうち、エイジフレンドリー補助金を申請する対策については、交付申請後に交付決定された後に、決定内容に従って取組を開始（専門家による指導、機器の購入、設備等の工事を発注）していただく必要があります。交付決定日より前に取組を開始（発注）していた場合は、補助金をお支払いすることができませんので十分注意してください。また、交付決定を受けた取組のすべてが完了する前（着手時点など）に業者等に代金等を支払った場合（いわゆる「前払い」）や発注・契約・購入を行う前の補助事業の実施についても同様に、補助金をお支払いすることができません。交付決定を受けた取組のすべてが完了した後に業者に代金等を支払い、その上で、期限までに実施報告と補助金の支払い申請を行ってください。
- ⑥ 対策を完了した日を記入してください。⑦ 対策完了後、労働者の意見を聴いて記入してください。

【対策の検討方法】 対策の検討にあたっては、①や②に基づいた対策を最優先に検討してください。（エイジフレンドリー補助金の対象となる対策は、補助金のHPに掲載したリーフレット等をご確認ください。）

- ① 危険を取り除く対策（例：危険な作業の廃止、作業方法の変更等）
- ② 設備面の改善となる対策（例：設備の改善、安全装置の設置、手すりの設置、滑り止め）
- ③ 作業方法やルールを見直す対策（例：作業手順の見直し、作業マニュアルの作成、安全）
- ④ 保護具による対策（例：ヘルメット、防滑靴、手袋等）

①ヒヤリハット等の内容に応じ選択してください。

②重大性と③発生可能性を選択いただくと自動で判定されます。

エイジフレンドリー補助金ホームページはこちら→



No	①ヒヤリハット等の内容	②重大性	③発生可能性	④リスク評価・対応レベル（自動）	⑤対策（自由記載）	⑥完了日	⑦労働者の意見
1	株式会社〇〇〇〇 1階の〇〇製造エリアを歩くとき、当該場所の床面は、蒸気等によって濡れており水気があり、長靴が滑って転倒しそうになる。（記載例）	重い（休業1ヶ月以上）	毎日～ひと月1回程度	リスクは高い状態です（対策が必要です） 危険源を取り除く本質的対策（例：危険な作業の廃止、作業方法の変更、安全な方法への転換等）または設備面の改善となる工学的対策（例：設備の改修、安全装置の設置、手すりの設置、滑り止めの設置、段差の解消、照明の改善等）を速やかに実施してください。	製造エリアの床面について、防滑性能の高い床材を導入する。		
2	株式会社〇〇〇〇 1階の玄関から事務所に繋がる廊下を歩くと、段ボールが置いてあり、つまずいて転倒しそうになる。（記載例）	中程度（休業災害で完治するもの）	半年～年1回程度	リスクは中程度です（改善が望めます） 設備面の改善となる工学的対策（例：手すりの設置、滑り止めの設置、段差の解消、照明の改善等）をまず検討・実施し、あわせて作業手順の見直しやマニュアル整備、安全教育、注意喚起等の管理的対策も行ってください。	廊下の整理整頓を行い、段ボールなどの障害物を置いたまにしないようにする。	2026年6月2日	整理整頓を心がけ、物を放置しないように通路の状態を維持するように、みんなで注意していくと賛同があった。
3	株式会社〇〇〇〇 〇〇屋の1階から2階の従業員用階段を昇降するとき、踏み面に滑り止めがなく、手すりもないことから、転落しそうになる。	致命的（死亡災害や障害の残る怪我等）	ひと月～数ヶ月1回程度	リスクは高い状態です（対策が必要です） 危険源を取り除く本質的対策（例：危険な作業の廃止、作業方法の変更、安全な方法への転換等）または設備面の改善となる工学的対策（例：設備の改修、安全装置の設置、手すりの設置、滑り止めの設置、段差の解消、照明の改善等）を速やかに実施してください。	階段に滑り止めを設置するほか、両手すりを設置する。		

4	株式会社〇〇〇〇の事務所および〇〇屋の1階販売所で、届いた段ボール等を開封する際に、刃が欠けたカッターナイフを使っていたところ、刃滑りを起こして手の指を切りそうになる。	軽度（不休災害・かすり傷等）	ひと月～数ヶ月1回程度	リスクは中程度です（改善が望まれます） 設備面の改善となる工学的対策（例：手すりの設置、滑り止めの設置、段差の解消、照明の改善等）をまず検討・実施し、あわせて作業手順の見直しやマニュアル整備、安全教育、注意喚起等の管理的対策も行ってください。	カッターナイフなどの用具については、点検を行い、刃が欠けたものは交換し、使用しないようにする。	2026年6月4日	カッターナイフなどを扱う際は、防刃手袋の支給をしたかどうかと意見があり、試しに手袋を支給して作業してもらい感想を聞くことにした。 (好評であれば、順次購入して支給する。)
5	<p>上記はリスクアセスメント実施の一例となります。リスクアセスメントは「安全管理者、衛生管理者、安全衛生推進者、衛生推進者」のいずれかの資格要件を満たしたものを安全衛生担当者として、実施するようにしてください。常時使用する労働者数が10人未満の事業者は「事業主」も可能です。</p> <p>リスクアセスメントは、まず青点線内のおり、労働者からのヒヤリハットや社内パトロールなどで把握した職場における危険性・有害性を洗い出し、判定されたリスクに基づいて、リスクを下げるための対策を検討してください。検討された対策のうち、補助金の対象となる取組についてはリスクが高いと判断される優先順位の高いものから申請が可能です。</p>				<p>緑点線内の記載について、補助金の申請には不要ですが、青点線で検討されたリスク低減対策を実施した後、労働者(安全衛生委員会や職場ミーティング等の場で)の意見を聴いて対策の効果を確認してください。</p>		
6							
7							
8							
9							
10							